



Cisco Meeting Server Web アプリケーション

重要な情報

バージョン 2.9.5

2020 年 11 月 27 日

目次

更新履歴	3
1 はじめに	4
1.1 Expressway ユーザ に関する重要事項	5
1.2 Cisco Meeting Server バージョン 2.9.4 の新機能	5
1.3 Cisco Meeting Server Web アプリケーション 2.9 の新機能	5
1.4 Web アプリケーションからコールに参加する場合の重要事項	6
2 Web アプリケーションの使用	7
2.1 Cisco Meeting Server Web アプリケーションの制限事項	8
3 テスト済のブラウザバージョン	10
MacOS 10.15 以降の Chrome 上での画面共有に関する重要事項	12
4 バグ検索ツール	13
5 解決済みの問題	14
6 未解決の問題	16
7 製品マニュアル	17
付録 A : アプリケーションの機能の比較	18
アクセシビリティ通知	21
Cisco の法的情報	22
Cisco の商標	24

更新履歴

以下はドキュメントに加えられた最近の変更です。

リビジョンの日付	変更
2020年11月27日	未解決の問題が更新されました。
2020年11月18日	5番目のメンテナンスリリース(2.9.5)。解決済みの問題が更新されました。
2020年9月23日	4番目のメンテナンスリリース(2.9.4)。解決済みの問題とブラウザバージョンが更新されました。
2020年8月20日	3番目のメンテナンスリリース(2.9.3)。解決済みの問題とブラウザバージョンが更新されました。
2020年6月25日	2番目のメンテナンスリリース(2.9.2)。解決済みの問題とブラウザバージョンが更新されました。
2020年6月15日	Expresswayバージョンのサポート情報が更新されました。 Expressway ユーザに関する重要事項
2020年5月18日	未解決の問題のリストが更新されました。
2020年4月30日	初回メンテナンス リリース(2.9.1)。解決済みの問題とブラウザバージョンが更新されました。
2020年4月8日	Cisco Meeting Server バージョン 2.9.0 の最初のバージョンが公開されました

1 はじめに

Cisco Meeting Server Web アプリケーション（Web アプリ）は、ユーザがミーティング（音声およびビデオ）に参加できる、Cisco Meeting Server 用のブラウザベースのクライアントです。

このリリースでは、Web アプリケーションは完全にサポートされていますが、機能はまだ完全ではありません。いずれは、WebRTC アプリケーションとほぼ同じ機能セットをサポートし、これを置き換えることを前提としています。「[Cisco Meeting Server Web アプリケーションの制限事項](#)」を参照してください。

このバージョンの Cisco Meeting Server では、Cisco Meeting Server Web アプリケーション（Web アプリ）に加えて、WebRTC 用 Cisco ミーティング アプリケーションが提供されています。詳細については、[WebRTC アプリの重要な情報に関するドキュメント](#)を参照してください。Cisco Meeting Server Web アプリケーションおよび WebRTC 用 Cisco ミーティング アプリケーションの機能の比較については、「[付録](#)」を参照してください。

注： Web アプリケーションの機能は開発のさまざまな段階に存在するため、部分的に実装されている機能がユーザインターフェイスに表示されない場合がありますが、ブラウザ デバッグ ツールからはアクセスできます。そのため、Web アプリケーションのユーザインターフェイスに表示されていない特定の機能を WebRTC 用 ミーティング アプリケーションで使用できないと想定するのは安全ではありません。

Cisco Meeting Server に関する詳細については、『[Cisco Meeting Server 2.9.5 リリースノート](#)』を参照してください。

注： Web アプリケーションをサポートする Web Bridge 3 コンポーネントは、Acano X シリーズでは実行できません。ただし、Acano X シリーズは、Call Bridge を実行して同じクラスタに含めることができます。Web Bridge 3 は、Cisco Meeting Server 1000 および 2000 プラットフォーム、仕様に基づくその他の VM で実行する必要があります。

1.1 Expressway ユーザに関する重要事項

Cisco Meeting Server Web アプリケーション バージョン 2.9.0 は、Expressway バージョン X12.6 との併用がサポートされています。それ以前のバージョンの Expressway はサポートされていません。

注：コール キャパシティの詳細については、『[Cisco Meeting Server のリリース ノート](#)』を参照してください。

1.2 Cisco Meeting Server バージョン 2.9.4 の新機能

Web アプリケーションは、Mozilla Firefox 80 以降で使用できます。2.9.4 よりも前のバージョンは Firefox 80 でサポートされていません。

1.3 Cisco Meeting Server Web アプリケーション 2.9 の新機能

Web アプリケーションのユーザインターフェイスが改善され、チームのビデオ会議機能が向上し、スペース検索のプロセスが簡素化されました。

スペースを簡単に見つけて、ミーティングを開始したり、ミーティングに参加したりすることができます。ミーティングの詳細情報をコピーすることで、ユーザをミーティングに招待できます。また、必要な場合は、パスコードを使用してミーティングへのアクセスを制限できます。

このバージョンの Web アプリケーションでは、次の機能を提供しています。次の機能を使用する詳細な手順については、『Cisco Meeting Server Web アプリケーション ユーザガイド』を参照してください。

- スペースにユーザを招待する。招待の詳細をコピーまたはメール送信する。
- 適切なアクセス許可を持つユーザはスペースを作成できます。スペースを作成すると、ユーザは使用可能なテンプレートのリストからテンプレートを選択できます。テンプレートを使用することで、事前設定済みのスペース設定や、スペースへの参加方法を適用できます。
- スペースをクリックすると、Web アプリケーションで、スペースの情報やスペースミーティングへのすべての参加方法を、ホストやゲストなどのロール別に表示できます。ミーティングへの参加方法は、管理者がシステムをどのように設定しているかによって異なることに注意してください。システムの設定によっては、1 つ以上のロールが表示される場合があります。個々のロールは、スペースにアクセスするために使用できる参加リンク、パスコード、ミーティング ID、およびシークレットの組み合わせであるアクセス方法を参照します。アクセス方式の詳細については、Cisco Meeting Server API のマニュアルを参照してください。

- ユーザがスペースを編集できるようになりました。スペース名を変更したり、参加リンク、パスコード、ビデオ アドレスなどのスペースの詳細情報を編集したりできます。
- 適切なアクセス許可を持つスペース メンバーは、Web アプリケーションからスペースを削除できるようになりました。スペースを削除すると、すべてのメンバーがスペースから削除され、スペースは存在しなくなります。
- Web アプリケーションで使用可能なミーティング中のメニュー オプションは次のとおりです。
 - ミーティング中に、参加者リストから他の参加者の音声とビデオをミュートできます。
 - 必要な場合は、会議から参加者を削除できます。
 - ビデオとプレゼンテーションのレイアウトを変更できます。

注：ミーティング中のメニュー オプションは、適切なアクセス権限が付与されている場合にのみ表示されます。

注：スペースとは、ユーザのグループがコールのためにいつでも使用できる永続的な仮想会議室です。

1.4 Web アプリケーションからコールに参加する場合の重要事項

Cisco ミーティング アプリケーション（デスクトップ、iOS、または WebRTC）と Web アプリケーションの両方を同時に使用することは推奨しません。

Web アプリケーションにサインインしてからミーティングに参加する場合、WebRTC アプリケーションからミーティングに参加することはできず、現在参加しているすべてのコールから切断されます。

WebRTC アプリケーションを再び使用するには、同じユーザ ID とパスワードを使用して WebRTC アプリにサインインする前に、Web アプリケーションから現在参加中のすべてのコールを切断します。

2 Web アプリケーションの使用

Web アプリケーションを使用すると、組織の内外の同僚やクライアントとの間で、音声、ビデオ、共有機能を使用してスペースでミーティングを開くことができます。デスクトップ、モバイル デバイス、またはタブレットで、サポートされている任意のブラウザから Web アプリケーションを使用できます。詳細については、[ブラウザの一覧](#) をご確認ください。

Web アプリケーションを使用する詳細な手順については、『Cisco Meeting Server Web アプリケーション ユーザガイド』を参照してください。

必要に応じて、次のいずれかのオプションを選択できます。

- Web アプリケーションにサインイン : Web アプリケーションにサインインして、ミーティングへの参加、メンバーになっているすべてのスペースのリストの表示、参加方法の表示を行えるほか、招待の詳細情報をコピーしてミーティングに招待することができます。適切なアクセス権限を持っている場合は、事前設定済みのテンプレートを使用してスペースを作成し、スペースを編集または削除することができます。
- ミーティングに参加 : ミーティングに招待された場合は、このオプションを使用します。招待には、ミーティング ID、パスコード（任意）、ミーティング リンクなどの詳細情報が含まれます。

2.1 Cisco Meeting Server Web アプリケーションの制限事項

注意：これらの制限事項は、Cisco Meeting Server バージョン 2.9.x の Web アプリケーションにのみ適用されます。より良い体験と機能性を得るためには、完全に機能する Web アプリを提供する Cisco Meeting Server の最新バージョン 3.x にアップグレードすることをお勧めします。

Web アプリケーションの現在のバージョンは機能が完全ではありませんが、今後 WebRTC アプリケーションとほぼ同じ機能をサポートするようになり、WebRTC アプリケーションを置き換える予定です。以下に、このリリースではサポートされていない機能の例を示します。

- Web アプリケーションにサインインすると、メンバーになっているスペースのみが表示されます。現在、表示されるスペース数の制限は 50 です。
- Web アプリケーションでスペースを作成した場合、WebRTC アプリケーションから同じスペースの参加情報を表示または編集することはできません。
- スペースのメンバーのリストを表示/追加/変更することはできませんが、Cisco ミーティング アプリケーションからスペースのメンバーのリストを表示/追加/変更することができ、その操作は Web アプリケーションに反映されます。
- 会議中に、カメラとマイクを変更することはできません。
- 参加時またはコール中にコール情報を表示することはできません。
- 参加者を重要にする、または重要でなくするオプションは使用できません。
- 録音およびストリーミングの制御は使用できません。Web アプリケーションのコールは、API、Cisco Meeting Management、または SIP エンドポイントを使用して録音またはストリーミングできます。ただし、録音またはストリーミングに関する通知を開始または停止したり、通知を表示したりすることはできません。
- すべての参加者の音声またはビデオをミュートまたはミュート解除することはできません。ただし、個別の参加者の音声とビデオをミュートまたはミュート解除することはできます。
- ミーティングをロックまたはロック解除するオプションは使用できません。

-
- コール診断は使用できません。
 - ブランディングはサポートされていません。
 - Web アプリケーションはローカライズされていません。
 - ミーティング中にビデオ アドレスを使用して SIP 参加者にダイヤルすることはできません。
 - 現在、ミーティングが録音中である場合、Web アプリケーションのユーザには録音インジケータは表示されません。ただし、このバージョンでは、参加者リストに参加者として「レコーダー」が表示されます。

注：次の機能は廃止され、Web アプリケーションでサポートされる予定はありません。

- ポイントツーポイント接続。
 - スペースミーティング中に他の Web アプリケーション ユーザにダイヤルするか招待する機能。
 - 通知：スペースミーティング中に他の参加者が参加したときの通知が表示されません。
-

3 テスト済のブラウザバージョン

表 1 に、特定のバージョンの Web アプリケーションのリリース時に Web アプリケーションについてテストされたブラウザの一覧を示します。

ブラウザの最新バージョンを使用することを常に推奨します。

注： Google Chrome や Mozilla Firefox などの特定のブラウザは、最新バージョンに自動的に更新されることに注意してください。次の表は、Cisco Meeting Server のバージョンの正式リリース時にテストされたバージョンのブラウザを示しています。これは、以前のバージョンのブラウザでこの特定のリリースをテストしていないことを意味します。

弊社では、すべてのブラウザの最新の公開バージョンに対して、Cisco Meeting Server の各メジャー リリースの最新メンテナンス リリースをテストして、すべてのリリースを互換性のある状態に保ち、問題を検出した場合にはできるだけ早期に修正するように努力しております。

次の表に、さまざまなブラウザおよびバージョン用にテストされた Meeting Server のバージョンを示します。

表 1: さまざまなブラウザでテストした Meeting Server のバージョン

Cisco Meeting Server のバージョン	テスト済みのブラウザとバージョン	
2.9.5	Google Chrome	86
	Mozilla Firefox	82
	Chromium ベースの Microsoft Edge	86
	MacOS 用 Apple Safari	13.x および 14.0
	iOS 用の Safari の Apple	iOS バージョン：13.x および 14.0
	Yandex for Windows	20.9 および 20.11

Cisco Meeting Server のバージョン	テスト済みのブラウザとバージョン	
2.9.4	Google Chrome	85
	Mozilla Firefox	80
	Chromium ベースの Microsoft Edge	85
	MacOS 用 Apple Safari	13.x および 14.0
	iOS 用の Safari の Apple	iOS バージョン : 13.x および 14.0
	Yandex for Windows	20.9
2.9.3	Google Chrome	84
	Mozilla Firefox	79
	Chromium ベースの Microsoft Edge	84
	MacOS 用 Apple Safari	13.x
	iOS 用の Safari の Apple	iOS バージョン : 13.x
	Yandex for Windows	20.7
2.9.2	Google Chrome	83
	Mozilla Firefox	77
	Chromium ベースの Microsoft Edge	83
	MacOS 用 Apple Safari	13.x
	iOS 用の Safari の Apple	iOS バージョン : 13.x
	Yandex for Windows	20
2.9.0 および 2.9.1	Google Chrome	80
	Mozilla Firefox	74
	Chromium ベースの Microsoft Edge	80
	MacOS の Apple Safari	12 と 13
	iOS 用 Apple Safari	iOS バージョン : 12.4 および 13.3
	Yandex for Windows	20

注 : Web アプリケーションは、レガシーの Microsoft Edge ではサポートされていません。

注：これらのサポートされているブラウザを実行している仮想マシン（VM）では、WebRTC アプリケーションはサポートされていません。

MacOS 10.15 以降の Chrome 上での画面共有に関する重要事項

MacOS バージョン 10.15 (Catalina) 以降では、Chrome 上で実行されているアプリケーションから画面またはアプリケーションを共有するには、アクセス許可を有効にする必要があります。手順は以下のとおりです。

1. Apple メニューから [システム環境設定 (System Preferences)] を選択します。
2. [セキュリティ & プライバシー (Security & Privacy)] をクリックします。
3. 上部にある [プライバシー (Privacy)] タブをクリックします。
4. 左側のカラムで下方向にスクロールし、[画面収録 (Screen Recording)] をクリックします。
5. Chrome が選択されていることを確認します。Chrome を再起動します。

4 バグ検索ツール

シスコのバグ検索ツールを使用して、問題と利用可能な回避策の説明など、このミーティング アプリケーションの解決した問題または未解決の問題に関する情報を探すことができます。これらのリリース ノートに示されている ID によって、それぞれの問題の説明に直接移動できます。

1. Web ブラウザを使用して、[バグ検索ツール](#) に移動します。
2. cisco.com の登録ユーザ名とパスワードでログインします。

このマニュアルに記載された問題に関する情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. **[検索 (Search)]** フィールドにバグ ID を入力し、**[検索 (Search)]** をクリックします。

5 解決済みの問題

このセクションでは、以前のリリースで確認された Web アプリケーションの問題のうち、記載されているバージョンで修正されたものを一覧表示しています。

表 2 : 2.9.5 で解決済みの問題

Cisco ID	要約
CSCvw03388	機能しているカメラがないと Web アプリの会議に参加できません。
CSCvw75094	Safari ブラウザが、Web アプリケーションに使用する内部 FaceTime カメラにアクセスできません。

表 3 : 2.9.4 で解決済みの問題

Cisco ID	要約
CSCvw76399	Mozilla Firefox ブラウザを使用して Web アプリケーションからコンテンツを共有すると、受信側のユーザに共有が表示されないか、共有内容が断続的に点滅します。
CSCvs83695	iPhone を使用して Safari 上で Cisco Meeting Server Web アプリケーションのミーティングに参加すると、その参加者の側で音声の不調や雑音が発生します。
CSCvt11301	Cisco Meeting Server Web アプリケーションと WebRTC 用 Cisco ミーティング アプリケーションを、異なるインターフェイス上での同じ https ポートに接続できません。

表 4 : 2.9.3 で解決済みの問題

Cisco ID	要約
CSCvw02988	Firefox バージョン 78 を使用して Web アプリケーションからコールに参加すると、アプリケーションが応答しなくなっていました。

表 5 : 2.9.2 で解決済みの問題

Cisco ID	要約
CSCvt73834	一部の Android デバイスから Chrome 上で Web アプリケーションを使用している場合、ミーティングに参加している他のユーザにはビデオが送信されているにもかかわらず、セルフ ビューが空白で表示されます。

表 6 : 2.9.1 で解決済みの問題

Cisco ID	要約
CSCvt64783	正しくエスケープされずにエンコードされたドメイン Cookie がある場合、Web アプリケーションに空白のページが表示されます。

6 未解決の問題

次の表に、このリリースの Web アプリケーションにおける既知の問題を示します。

注意： WebRTC 用 Cisco Meeting Server Web アプリケーションに関する未解決の問題については、『[WebRTC 用 Cisco ミーティング アプリケーションに関する重要事項のドキュメント](#)』を参照してください。

表 7：未解決の問題のリスト

Cisco 識別子	要約
CSCvu30182	ミーティングが録音中である場合、Web アプリケーションのユーザには録音インジケータは表示されません。ただし、参加者リストに参加者として「レコーダー」が表示されます。
CSCvt71065	Safari 上で Web アプリケーションを使用する場合、ユーザインターフェイスの前面に背景画像が表示されることがあります。これは Safari に関する既知の問題であり、通常、ユーザインターフェイスをクリックするか、ブラウザを更新すると解決されます。
CSCvt71069	ビデオ レイアウト [スピーカー大 (speaker large)] が選択された場合、ウィンドウのサイズが正常に設定されません。
CSCvt71071	iPhones で Web アプリケーションを使用する場合に、コール中にセルフビュー ウィンドウが空白になる場合があります。

注： iPhone の Safari からアプリを使用しても、スピーカーとヘッドフォンの切り替え中に音量コントロールが機能しません。

7 製品マニュアル

Web アプリケーションのユーザガイドなどのエンドユーザ ガイドや、ビジュアルなハウツー ガイドは、次の場所で入手できます。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/cisco-meeting-app/products-user-guide-list.html>

付録 A : アプリケーションの機能の比較

Cisco Meeting Server Web アプリケーション と WebRTC 用 Cisco ミーティング アプリケーションの機能比較です。

表 8 : Cisco Meeting Server Web アプリケーション と WebRTC 用 Cisco ミーティング アプリケーションの機能比較

機能	Web アプリケーション 3.0	Web アプリケーション 2.9.x	WebRTC アプリケーション (Meeting Server 2.9)
全般			
Cisco Meeting Server のバージョン	3.0	2.9	2.7-2.9
ユーザレベルのアクセス許可 (例: スペースを作成可能)	はい	はい	はい
ローカリゼーションのサポート	いいえ	いいえ	はい
ブランディング	はい	いいえ	はい
オンライン ヘルプ	はい	いいえ	はい
暗号化	はい	はい	はい
ビデオ アドレス (URI) を使用した参加	はい	いいえ	いいえ
通知			
着信コール通知	該当なし	該当なし	はい
新しいチャット メッセージの通知	該当なし	該当なし	はい
スペースの管理			
スペースの作成/編集	はい	はい	はい
スペース メンバーの追加/編集/削除	はい	いいえ	はい
ディレクトリ エントリの検索	はい	いいえ	はい
スペースの情報の表示	はい	はい	はい
招待状を送信	はい	はい	はい
音声とビデオ			
音声	OPUS	OPUS	OPUS
ビデオ	H.264	H.264	H.264
マイク/カメラ設定の制御	はい	はい	はい
画面共有			
画面共有の表示	はい	はい	はい

機能	Web アプリケーション 3.0	Web アプリケーション 2.9.x	WebRTC アプリケーション (Meeting Server 2.9)
デスクトップ共有	はい	はい	はい
アプリケーション共有	はい	はい	はい
新しいウィンドウでの画面共有の表示	はい	いいえ	いいえ
チャット			
チャット メッセージの送受信	いいえ	いいえ	はい
コール中			
DTMF	いいえ	いいえ	はい
全画面表示	はい	いいえ	いいえ
レイアウト制御	はい	はい	はい
名前ラベル	はい	いいえ	いいえ
録音 (Recording)	はい	いいえ	はい
ストリーミング	はい	いいえ	はい
セルフビュー	はい	はい	はい
セルフビューの固定	はい	いいえ	いいえ
セルフビューのミラー表示	はい	いいえ	いいえ
セルフビューの移動	はい	いいえ	いいえ
HD/SD の選択	はい	いいえ	いいえ
プレゼンテーションのプレビューの固定	はい	いいえ	いいえ
プレゼンテーション プレビューの移動	はい	いいえ	いいえ
参加者			
参加者を追加	はい (SIP のみ)	いいえ	はい
参加者の削除	はい	はい	はい
参加者を重要にする	はい	いいえ	はい
他の参加者の音声とビデオを個別にミュート/ミュート解除	はい	はい	はい
すべての参加者の音声とビデオをミュート/ミュート解除	はい	いいえ	はい
コール中の診断を送信	はい	いいえ	はい
ポイントツーポイント コール	いいえ	いいえ	はい
招待の送信	いいえ	いいえ	はい

機能	Web アプリケーション 3.0	Web アプリケーション 2.9.x	WebRTC アプリケーション (Meeting Server 2.9)
コール情報の表示	いいえ	いいえ	はい
コール中のマイク/カメラの制御	はい	いいえ	はい
コールの移動			
このデバイスへのコールの移動	いいえ	いいえ	はい
このデバイスを画面共有のみに使用 (別のデバイスが音声とビデオに使用されている場合)	はい	はい	はい
ミーティングでビデオ システムを使用			
ビデオ システムを使用して、ビデオ アドレスを入力してミーティングに参加	いいえ	いいえ	はい

注意 : WebRTC アプリケーションの詳細については、『[WebRTC 用 Cisco ミーティング アプリケーション に関する重要事項](#)』のドキュメントを参照してください。

注 : コール中に外部エンドポイントにコールを移動したり、音声を通常の電話に移動したりすることはできません。

アクセシビリティ通知

シスコは、利用しやすい製品およびテクノロジーの設計および提供に取り組んでいます。

Cisco Meeting Server Web アプリケーションに関する Voluntary Product Accessibility Template (VPAT) は次の場所で入手できます。

http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/legal_regulatory/vpats.html#telepresence

アクセシビリティの詳細については、以下を参照してください。

www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html

Cisco の法的情報

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェア ライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジー図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この文書の印刷されたハード コピーおよび複製されたソフト コピーは、すべて管理対象外と見なされます。最新版については、現在のオンライン バージョンを参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所と電話番号は、当社の Web サイト www.cisco.com/go/offices をご覧ください。

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco の商標

Cisco および Cisco のロゴは、米国およびその他の国における Cisco およびその関連会社の商標を示します。Cisco の商標の一覧については、

www.cisco.com/go/trademarks をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. 「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1721R)